

思春期の心 ～登校しぶり～

【プログラムのねらい】

中高生になると、子供も以前のように気軽に気持ちや悩みを打ち明けなくなり、親は気をもむことも多くなります。ここでは、登校しぶりなど子供の気持ちや悩みを考えつつ、親としてどのように子供を励まし支えていけばよいかを学習します。

【プログラムの展開例】（時間 60 分程度）

	○進め方 ◎ことばかけ	留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介をします。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。 ○自己紹介やゲームを行ったり、参加しやすい雰囲気づくりをしたりします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な話し方を心がけます。 ○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。 ○ゲームなどが終わるまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。 ○1グループにつき5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。 ○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク1」の活動の説明をします。 ◎「エピソード」を読んでみましょう。 ◎親の立場になって考えてみましょう。親はどんな気持ちか考えてみましょう。 ◎グループ内で意見交換してみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク2」の活動の説明をします。 ①この子の今の気持ちを考えてみましょう。登校をややしぶりながらも学校へ行くことができているのは、なぜでしょうか。 ◎グループ内で意見交換してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○親はどんなことが心配なのか、具体的に言葉にしてみるように助言します。 ○答えに「正しい」、「間違っている」ということではないので、考えたことを積極的に話して欲しいこと、また、お互いの意見を共感的に受け止めて欲しいことを話します。 ○この子が今どんな気持ちなのか、自分がその子供になったつもりで考えるように話します。 ○ワーク1と同じ展開で進めます。

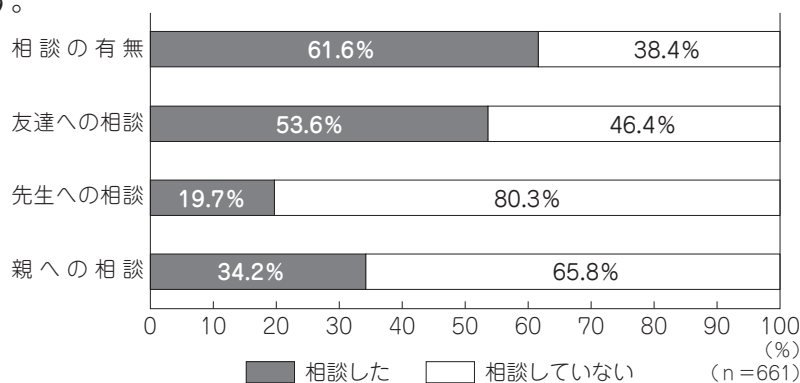
	<p>②話を聞いてもらいたい人は、誰でしょう。</p> <p>◎グループで意見交換しましょう。</p> <p>○「ワーク3」の活動の説明をします。</p> <p>①親として悩みを打ち明けやすいようにするには、普段からどのように接したらよいでしょうか。また、学校との連携はどのようにしていけばよいでしょうか。</p> <p>②親としてこの子にどんな励ましの言葉をかけたいですか。</p> <p>◎グループで意見交換しましょう。</p>	<p>○相談相手は周囲にたくさんいることや、資料を使いその中に相談しやすい人がいることに気付くように話します。</p> <p>○親としてどう支えていけばよいか考えるように助言します。</p> <p>○なかなか書くことのできない参加者には、自分なら、親にどんな言葉をかけて欲しいかを書くように助言します。</p> <p>○ワーク1と同じ展開で進めます。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>◎今日の学習をまとめましょう。</p> <p>○参加者一人一人に今日の学習を通して感じたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり)</p> <p>○発表してもらいます。</p>	<p>○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。</p> <p>○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。</p> <p>○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。</p> <p>○参加者に、大なり小なり誰にでもある「行きしぶり」の経験やその時の気持ちをもとにして、この時期の親としての励まし方や支え方を具体的に考えるように話し、まとめます。</p>

※設定時間が短い場合は、ワーク2とワーク3を中心に流れを考えるようにします。

資料 1

Q 誰かに悩みの相談をしましたか？

この1年間で誰かに「悩みを相談した」という生徒は61.6%でした。相談相手は友達という生徒が多く、「友達への相談」が53.6%と半数を超える結果でした。また、親や先生への相談は友達よりも少ない傾向にあります。



この1年間で誰かに悩みの相談をしましたか？（複数回答）

kanko ホームルーム Vol36 「悩み事相談に関する意識調査」(平成20年)

「仕の掟」(ならめことはならめものです) ※抜粋

- ・虚言をいふ事はなりません
- ・卑怯な振舞をしてはなりません
- ・弱い者をいぢめたりはなりません

会津藩では、6歳から9歳までの藩士の子供は、住んでいる区域ごとに10人前後で集まりを作っていました。

この集まりを会津藩では「仕」と呼び、「仕」で守らなければいけないこととして、誓いあったルールが「仕の掟」です。
広く知られている掟は7カ条ですが、ここでは、そのうち3つを紹介します。

どうしても親や先生に相談できないうき、
電話やメールで相談できることがあります。

★ よい子の電話教育相談 **0120-86-3192**

24時間365日受付 18歳以下の子供専用

★ 電子メール相談 **soudan@spec.ed.jp**

★ 子どもスマイルネット **048-822-7007**

午前10時30分～午後6時 (祝日・年末年始を除く)

★ 埼玉県青少年サポートセンター

(サンクレストビル) **048-861-1152**

午前8時30分～午後5時15分 (日曜・祝日・年末年始を除く)

埼玉県いじめ問題対策会議 (メンバー：知事事務局・教育局・警察本部の関係各課)

事務局：埼玉県民生涯教育少年課

〒330-8301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

代表Tel：048-830-2905 FAX：048-830-4754 Email：a28005@pref.saitama.lg.jp

彩の国埼玉県

いじめられたら
いじめをみかけたら
かならず相談してね

埼玉県のマスコット
コバタン

いじめは絶対に許しません!

源和ノブス

大宮アルディージャ



君の味方はきつといる。
だから、相談する勇気を
持ってください。

鈴木 晋太 選手

いじめられる君へ

君はひとりじゃない。
君を大切に思い、
話を聞いてくれる人は
必ずいる。

金澤 慎 選手



「だれかが声をかける
だろろ」ではなく、
自分から勇気を出して
声をかけよう

鈴木 陽介 選手

いじめを見つければ

いじめられている子に
話しかけたり、周りの人
に知らせる勇気が
君にはきつとある。

遠藤 大剛 選手



人をいじめていい理由
なんて
あるわけじゃないか。

横野 智章 選手

いじめられる君へ

君は遊びのつもりかも
しれない。
でも自分がされたら
どう思う?

菊地 光将 選手

※メッセージ動画を
「[サイトまどうら](#)」
で見ることができます。

「[サイトまどうら](#)」で

検索

いじめのない学校をめざして

いじめはなぜいけないのか

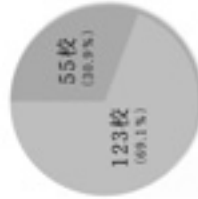
いじめは、人権侵害です。単独で耐えねばなりません。決して許されません。いじめられている相手の気持ちになれればきつと分かるはずですが、自分にしてほしくないことを相手にしてはいけません。

いじめはこんなに多く起きている

平成23年度の埼玉県でのいじめの認知件数（分かった件数）は、中学校850件、高等学校118件でした。また、中学校の58.1%、高等学校の30.9パーセントでいじめが認知されています。



■ いじめのあることが分かった中学校
■ それ以外の中学校



■ いじめのあることが分かった高校
■ それ以外の高校



いじめは、いつでも、どこでも、誰にでも起こり得るものなのです。いつ君もいじめ問題の当事者になるか分かりません。

いじめられている君へ

いじめは、いじめられる側の心の問題です。君が悪いわけではありません。勇気をもって、身近な人たちに相談をしてください。君の気持ちに答えてくれる人は必ずいます。君の身近にいる先生たちは「いじめは絶対に許さない」という信念をもっていじめ問題の解決に全力を尽くします。

いじめる君といじめに気付かない君へ

誰かが嫌がったり、苦しんだりするのを見て楽しいと感じていませんか。それはいじめです。場合によっては犯罪になるものです。いじめられている側に責めを負わせることがあってはなりません。問題はいじめられる側、君の方にあるのです。



もしかすると、君がいじめと思っていないけれども相手は君の言動で苦しんでいるかもしれません。自分自身の言動をよく省みてください。そしていじめと気付いたら直ちに止めて、相手に謝ってください。

いじめを見つけたら

もし君の近くでいじめがあったら「それはいじめだ」、「いじめはしてはいけない」と言ってください。そして、勇気をもって、身近な人たちに相談をしてください。「告げ口」（ちくり）と「相談」は違います。「相談」は困っている人を見て、どうしたら問題が解決するのか、一緒に考えてもらうことです。君の気持ちに答える人は必ずいます。見て見ぬふりをするのは、いじめ行為に加わっているのと同じです。いじめを見て「許せない」という気持ちがある人は必ずあります。一歩踏み出し、相談してみてください。君の身近にいる先生たちは勇気を出して相談してくれた君を絶対に守り抜きます。

どうしても君や先生に言えない場合、電話やメールで相談できる場所もあります。うしろのページを見てください。